

『授業連携報告書』

授業のテーマ

人工衛星とプログラミング

目標(授業連携をした目的等)

- ・人工衛星についての理解を深める。
- ・プログラミングを通して、論理的思考力をつける。

| | | | | | | | |
|------|------|---|---------------|-----|----|----|---|
| 実施対象 | 学年 | 6 | 3 | クラス | 合計 | 81 | 名 |
| 授業科目 | 総合学習 | | 科目「その他」の場合記入) | | | | |
| 単元 | | | 授業日 | 12 | 月 | 7 | 日 |

授業連携の前後の授業内容について

| 前 | Scratchの基本的な使い方を知り、図形を書く体験をする。 | | |
|---------------|--|---|---|
| 後 | Scratchを使って、簡単なゲームを作る。 | | |
| 時間配分 | 学習内容・活動 | 子供の様子 | 学校(先生)の役割・活動 |
| 導入 20 分 | 人工衛星について知る | <ul style="list-style-type: none"> ・興味深く話を聞いていた。 ・質問に対して、挙手して答えた。 ・身のまわりで人工衛星を活用しているものを知り、興味を深めた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・はじめのあいさつを行った。 |
| 展開 65 分 | ①Scratchについての話 ②Scratchの基本的な使い方 ③Scratchを使ってのプログラミング体験 ④人工衛星をScratchで模擬的に制御するプログラムの作成 | <ul style="list-style-type: none"> ・体験したことがあったため、話されていることも理解でき、簡単な操作は指示通り行うことができていた。 ・課題が難しくなるにつれ、近くの席の子と相談したり、講師の方に質問したりしながら、意欲的に活動していた。 ・思い通りに人工衛星を動かすにはどうすればよいか、試行錯誤しながらプログラムの作成を行っていた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの様子を見て回り、操作が遅れている子に支援をした。 |
| まとめ 5 分 | 今後のプログラミング活用について | <ul style="list-style-type: none"> ・人工衛星やそれを動かすプログラムについての話を聞き、今後のプログラミング活用について興味を深めた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習のふり返しをし、お礼を言って授業を終えた。 |

授業連携の感想・メモ

JAXAの方から、人工衛星について資料を使いながら話していただけたことで、興味をもって学習を始めることができた。プログラミングを学ぶことで、人の手では操作できないものを動かすことができることや、自分の思い通りに動かすことは難しいということを知ることができた。自分の将来について考える時間にもなったようである。

授業連携アンケート

| | |
|---|----|
| ①連携依頼票にご記入の「授業連携のねらい」は達成されましたか？ | はい |
| ②授業連携の前後で、児童・生徒の学習姿勢等に変化は見られましたか？ | はい |
| ※②で「はい」とお答えの方、どのような変化がみられたか具体的に教えてください。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・プログラミングへの興味、関心が高まった。JAXAの方にお話しただけことがよかった。 ・将来の職業選択への意欲につながった。 | |
| ※②で「いいえ」とお答えの方、その理由を教えてください。 | |